南小だより

佐世保市立吉井南小学校
№37　R．４．２．１０（木）
文責：山 口 伸 一 郎

一年のまとめの時期を迎えています。

２月に入り、早くも１０日が過ぎ、あっという間に年度末となる気配を感じます。新型コロナウイルスの感染状況に関しては、全市的にまだまだ落ち着かない状況が続いていますが、何かと制約のあるなかでも、子どもたちは毎日一生懸命に学校生活を送っています。

今年度の残りがおよそ３０日程度となってきていますが、現在子どもたちは、学習・生活ともに一年のまとめに向けて、各学年でそれぞれにめあてをもって取り組んでいます。先日、１２月に実施した各学年の学力テストの結果が送られてきました。国語・算数ともに全国平均に届いていない学年もあるのですが、同一集団におけるここ数年の経年変化を見てみると、少しずつ点数の伸びが見られ、徐々にではありますが子どもたちのがんばりが結果に表れてきていることを実感しています。この成果を来年度に着実につなげるとともに、それぞれの学年で課題を明確にして、次の学年の指導に生かしていかなければならないと、教職員一同思いを一つにしているところです。

＜朝の時間「スキルタイム」の様子（３年生）＞

これまでも折に触れてお話させていただいていますが、学力の向上・定着を図っていくためには、学習規律や学習習慣の定着がとても大切であると実感します。**「授業中に先生や友だちの話をしっかりと聞いて、学びを深めることができているか」、「学習に必要な用具は整備され、忘れ物はないか」、「家庭において、日々めあてをもって学習に取り組むことができているか」等**、学習規律や学習習慣の定着については、学校と家庭が強力にタッグを組んで指導しなければ、なかなか身につけることが難しいものと思います。そして、タブレット等が普及しても、この点についてはこれまでと変わらない、普遍的なものではないでしょうか。一年のまとめとなるこの時期に私たち大人も再度振返りを行い、あらためて子どもたちの指導に生かしていけたらと思う次第です。これからも、まとめに向けて、一層充実した教育活動が展開できるよう努力してまいりますので、今後とも、ご家庭のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「あいさつ」、「はきものそろえ」も、振返りを行いましょう。

朝、正面玄関下の横断歩道で子どもたちを迎えて、あいさつを交わします。「おはようございます。」ずいぶんと、自分たちからあいさつができる児童が増えてきました。「おはようございます。行ってらっしゃい。」という私の言葉に、「行ってきます。」と答えてくれる児童も少しずつ見られるようになりました。それでも、声の大きさや自主性、地域での率先したあいさつという点では、まだまだ満足できるものではないと思いますが、一方で、地域の方から「低学年の児童が大きな声で、伸びやかにあいさつしてくれるのが嬉しいです」というお声をいただき、とても嬉しく思うところです。

本校は、「あいさつ」と「はきものそろえ」については、『凡事徹底』の一環として２年前から全校一斉に取り組み、機会を捉えては子どもたちにも話を続けています。この２点をとおして、自分を見つめ、「落ち着いた学校生活を行う」ことが大きな目的です。どちらも、以前からするとずいぶんと定着を感じますが、**自分からあいさつ、かかとを揃える等の細かい点（真の意味での『徹底』）が課題**です。上記の内容と同じく、この２点についてもしっかりと振返りを行い、これから更に意識を高めて生活し、充実した学校生活につなげてほしいと願っています。